「EE東北’25」期間中『体験型実習施設 見学会』を開催しました！

東北技術事務所

～ 次世代の建設業を担う高校生らがインフラ施設（不具合事例）を見て・触れて・考える ～

■「EE東北’25」の開催期間中、不具合を再現した構造物のスケールモデル『体験型実習施設【土木構造物・河川堤防等】』に、総数150名を超える多くの見学者（高校生・専門学校生・自治体職員）が来場しました。
■見学者の皆さんは、講師（東北技術事務所職員）の説明に熱心に耳を傾け、コンクリート構造物の不適切施工による様々な不具合事例や河川堤防の異常箇所事例（変状・損傷等）、点検技術について学び、インフラ施設の品質、管理の重要性について理解を深めていました。

開催概要

■開催期間：
令和7年6月4日（水）～5日（木）　2日間

■参加校・参加機関：
迫桜高校（宮城）、横手青陵学院高校（秋田）、創学館高校（山形）、仙台工科専門学校（宮城）、自治体（山形県）

■参加者数：
総数158名（学校136名　自治体22名）

■実習内容：
体験型土木構造物実習（不適切施工）
体験型河川堤防等実習（施設の変状と点検技術）

体験型実習の実習風景

▲ 創学館高等学校 実習風景

▲ 横手青陵学院高等学校 実習風景

▲ 山形県 実習風景

▲ 迫桜高等学校 実習風景

▲ 仙台工科専門学校 実習風景